

京都府介護支援専門員法定研修 感染拡大予防ガイドライン

1. はじめに

介護支援専門員の法定研修のうち、当会が実施をする「再研修」「更新研修(実務未経験者)」「専門研修・実務経験者更新研修課程Ⅰ」「専門研修・実務経験者更新研修課程Ⅱ」「主任介護支援専門員研修」「主任介護支援専門員更新研修」については、新型コロナウイルス感染症等の感染拡大防止のため本ガイドラインを基に運営をする。受講者においても、感染防止の観点から本ガイドラインの内容を了承したうえで受講をすること。なお、このガイドラインの内容は、必要に応じ適宜改訂を行うものとする。

2. 感染症対策についての基本的事項

2-1. 人と人との距離等:3密(密閉・密集・密接)の回避

- ・研修の質を担保しつつ、人と人との接触をできる限り避けるよう実施内容を検討する。
- ・対人距離(人と人が触れ合わない距離での間隔)を確保した座席配置を行う。
- ・講師やスタッフ及び受講者に対する咳エチケット・マスクの着用等の協力を求める。
- ・研修中の換気については、二酸化炭素濃度測定器の数値を目安に、周辺の会場との関係で可能な範囲で換気を行う。

2-2. 研修会場における感染症対策

- ・会場に手指消毒薬を設置する。

3. 受講者に協力を願うこと

3-1. 他者との接触を最低限にする

- ・受付時や退出時、集合場所等において、密にならないよう、対人距離(人と人が触れ合わない距離での間隔)を確保するよう努める。
- ・研修会場においてはマスクの着用の協力を求める。(不織布マスクが望ましい)
- ・昼食については、対面での食事や会話を避ける等、感染拡大予防に努める。会場で食事をとる場合は、指定された座席から移動しない。
- ・筆記用具等は各自で持参し共有することを避ける。

3-2. 体調管理

- ・受講3日前から受講当日までに発熱や咽頭痛、咳や倦怠感、味覚・嗅覚異常等の新型コロナウイルス感染症の疑いのある症状が出ている場合は、事務局に事前に申し出た上で、受講を自粛する。
- ・新型コロナウイルス感染症等に感染していても、自宅で受講できる場合は受講しても良いが、喉が痛くて声が出ない、または発熱、倦怠感等で研修に集中できない場合は受講を自粛する。

3-3. 新型コロナウイルス感染症に罹患した場合または接触者の研修参加への判断基準は以下のとおりであるが、勝手に判断せず、必ず事前に事務局に申し出る。

◇新型コロナウイルス感染症陽性と判定された場合

⇒療養解除までの間受講を自粛する

◇新型コロナウイルス感染症陽性者と接触がある場合

⇒勤務先等の判断に基づき受講を自粛することも可能

重要事項

感染症関連で研修が受講できなかった場合、コースの振替等により研修修了ができる方法をあらかじめ準備しているため、決して事実を隠して受講しないこと。

4. 研修の開催基準について

感染拡大の状況にあつては、やむを得ず研修の開催を「延期」・「中止」または研修の方法を一部変更することもある。

(令和2年7月1日作成)

(令和2年8月12日改訂)

(令和3年4月30日改訂)

(令和3年8月20日改定)

(令和3年8月24日改定)

(令和4年8月19日改定)

(令和5年4月27日改定)

(令和6年4月1日改定)

公益社団法人 京都府介護支援専門員会